



就労移行支援事業所でメダカ？図書館？ヨガ？～就労移行支援事業所「マイパレット」～

「就労移行支援事業所」とは、障害者総合支援法に定められた就労支援事業のひとつで、企業などへの一般就労を希望する人に対して、作業訓練や就職後の職場定着の支援などを行う事業所のことです。マイパレットでは、地元企業への作業訓練と事務所での職業訓練、そのほか地域イベントの開催など、社会との関わりが持てるプログラムをたくさん用意しています。



メダカ養殖場での作業の様子

現在事業所の利用者は約10名。プログラムは利用者に合わせて組まれています。「梅いのないチャレンジ」という支援員のみならず、利用者の思いから、利用者さんの特徴にあった企業訓練や作業訓練を探しているそう。利用期間は原則2年で、そのあいだ悔いなく次のステップに進める環境をサポートしています。卒業生もまたに事業所に遊びに来るよう、近況報告してくれるとのこと。アットホームな雰囲気も少人数な

早期就労に向けた様々なプログラム
作業訓練のひとつに、観賞用メダカの販売を行う企業の養殖場での水槽の清掃があります。企業で取り扱っているメダカはなんと100種類以上。敷地いっぱい広がる水槽を丁寧に洗っていきま。根気のいる作業になります。利用者さんは黙々とこなしているそう。その頑張りがあつて、最近では企業からメダカを少し分けてもらい、事業所で1匹100円からの価格で販売する「メダカ屋」を開始しました。また、企業の社長さんとお祭り好きということ、イベント「めだか祭り」も1年前から開催。多様な種類のめだかすくいができるということ、地元の人々にとっても好評です。

パソコンのスキル
アップの支援も行っています。「情報処理力サポート部」として、資格取得に向けたサポートをおこない、事業所を訓練場所として開放しています。事業所におじゃました日は検定試験が近いということもあり、利用者のみなさんがビジネス文



パソコン訓練の様子。左に置かれた資料をもとに、時間内にビジネス文書を作成していきます

それぞれに合った「働く」支援
書の作成の練習に励んでいました。正確とスピードが求められる文書作成。資格取得をすることでさらなる自信をつけていき、それが早期の就労を目指しています。
地域の「公民館」的な存在に
マイパレットでは地域の中にある事業所として、地域の人々との交流も大切にしています。読書やイベントができるスペース「まちライブラリー」では、ちよつとした図書館として開放しています。これは近所の方が本をどんでん寄贈してくれたのだとか。
また、職業指導員のなかにもヨガ講師をしている方がいるというつながりから、事業所でヨガ教室も行っています。就労移行支援事業所と聞くと、「就労支援」に特化した場所というイメージが先行しがちですが、マイパレットでは求職中の方以外にも、地域の人々も気軽に出入りできるような地域の「公民館」的な存在を目指しています。就労支援だけでなくメダカや本、ヨガに興味のある方はぜひ覗きにいらしてください。(K・K)



「めだかと夏祭り」のチラシと過去のイベント様子。毎回、たくさんの親子連れで賑わいます。



一般社団法人 和乃絆 就労移行支援事業所「マイパレット」
和歌山市内原 726-13 TEL 073-412-8010
【「めだかと夏祭り 2018」開催！】
7月28日(土) 11:00～15:00
場所：紀三井寺公園
めだかすくい(350円)、出店などがあります。

みんなでつくる情報板 わかやまイベントボード

- おどるんや～第15回紀州よさこい祭り
日時・場所 7月29日(日) 11:00～和歌山マリナーシティ。
8月4日(土) 11:00～JR和歌山駅前・イオンモール和歌山、16:00～本町通り・和歌山城砂の丸広場。8月5日(日) 9:00～高松旧国道、12:00～モンティグレ、13:00～和歌山城西の丸広場、14:00～和歌山城砂の丸広場、14:25～けやき大通り
参加費 無料
問い合わせ 紀州お祭りプロジェクト (073-426-4424)
備考 スケジュール詳細は公式サイト・ブログで
- 和歌山県立医科大学 夏の公開講座
2日間で4講座あります。
日時・テーマ 8月4日(土) 13:00「英詩を読もう」、14:45「原子核研究の源泉」。8月5日(日) 13:00「好みと価値の行動分析学」、14:45「粘菌から見える世界」
場所 和歌山県立医大図書館棟
対象 高校生以上の方
定員 100名
参加費 無料
問い合わせ 和歌山県立医科大学総務課 (073-441-0710)
- 連続講座 岩橋千塚(6)
岩橋千塚古墳群及び和歌山県域の古墳時代をテーマとする連続講座の第6回です。
日時 7月29日(日) 13:30～15:30
場所 県立紀伊風土記の丘
講師 川口修実さん(有田川町教育委員会)、萩野谷正宏さん(紀伊風土記の丘学芸員)
参加費 無料(風土記の丘入館料は必要)
問い合わせ 和歌山県立紀伊風土記の丘 (073-471-6123)
- 本づくりに挑戦
昔ながらの和綴じ本を作ります。夏休みの工作にいかがですか。
日時 8月4日(土) 14:00～15:00
場所 正教寺本堂(和歌山市冬野1045)
参加費 500円
定員 10組(申し込み必要)
問い合わせ・申込み 正教寺 (073-479-1871、メール info@youkyouji.com)
備考 小学校低学年のお子さんは保護者同伴。

緊急実施！ 「平成30年7月豪雨」被災地に和歌山の梅干しを贈ろうプロジェクト

このたびの豪雨で被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。被災地では暑さのなか、復旧・復興作業が進められており、その環境は極めて厳しいものになると思われます。7年前に紀伊半島大水害を経験した和歌山県から被災地へ少しでも恩返しができるように、2年前の熊本地震に引き続き「和歌山の梅干しを贈ろうプロジェクト」を実施します。

大規模災害の被災地では、被災者の方が被災世帯や仮設住宅等に引きこもりがちになってしまい、健康をそこねてしまう方が続出します。この梅干しは、被災地で活動する支援団体を通じて、支援者と被災者の交流を促進するきっかけづくりや、仮設住宅におけるコミュニティ活性化の「ツール」の一つとしても役立てます。みなさんの気持ちを被災地にお届けします！

お贈りするのは和歌山を代表するブランド梅干し「南高梅」。現地で柔軟に活用できるよう、個包装タイプをお贈りします。被災地のみなさんに「和歌山からも応援しています！」というメッセージをお届けすることにつながります！

「梅干し」プロジェクトにみなさまのご支援をいただきますよう、お願いいたします。

1口3,000円で、南高梅約20個のご支援につながります！

【ご寄付の方法は3通りあります】

- [1] わかやま NPO センターのウェブサイト (<http://www.wnc.jp/>) から特設サイトへ。クレジットカードもしくはコンビニ決済が可能です(はじめてのご利用の場合は無料の会員登録が必要)。決済手数料はわかやま NPO センターが負担します。
- [2] ゆうちょ銀行のATM から「口座番号 00910-0-188998 加入者名 特定非営利活動法人わかやま NPO センター」へ入金下さい。恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい。なお、領収書発行の都合上、住所・お名前・連絡先梅干し寄附であることを通信欄にご記載下さい。
- [3] 和歌山県 NPO サポートセンター(和歌山ビッグ愛9階)に現金を添えてお申し出ください。領収書は後日お届けします。

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人わかやま NPO センター
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp
業務時間：月曜～金曜の10時～17時
(業務の都合で不在のことがあります)



このほかの情報もたくさん掲載！
「わかやまイベントボード」
URL <http://eventboard.shiminjuku.jp/>